

Kwila, Teak材の人工乾燥スケジュール

含水率(%)	Kwila		Teak	
	乾球温度	乾湿球温度差	乾球温度	乾湿球温度差
生～35	60℃	4℃	55℃	4℃
35～30	60	4	55	4
30～25	65	6	60	6
25～20	70	9	65	9
20～15	75	15	70	15
15～10	80	25	80	25
10以下	80	30	80	30

3. 成果

作製したスケジュール表をもとに 乾燥の指導を行った。

タブノキの乾燥性に関する試験

遠 矢 良 太 郎

1. 目的

本県の木製品によく用いられる タブノキについて 天然乾燥による含水率低下と収縮率変化を測定する。

2. 概要

樹 種 : タブノキ Machilus tumbergie S.

試片寸法 : 2.7(R)×10(T)×30(L)cm

測定期間 : 48年7月10日～49年5月7日 約10ヶ月

試片の設置場所 : 本場の室内と屋上にそれぞれ2枚ずつ設置した。

タブノキの各含水率に達するまでに要する天乾日数

設置条件	%	全乾比重	初期含水率	各含水率に達するまでの天乾日数				平衡含水率%
				30%	20%	15%	12%	
室内	%1	0.67	79.8	31	54	81	109	11.4
	%2	0.63	83.3	33	57	81	109	11.4
屋外	%1	0.66	81.1	35	61	82	109	11.8
	%2	0.73	69.5	32	57	80	105	11.6

3. 成果

2.7cm厚のタブノキは 天乾期間1ヶ月で含水率が30%, 2ヶ月で20%, 4ヶ月で12%まで低下することがわかった。